

令和2年第1回鹿追町議会臨時会会議録

1 議事日程第 1号

日時 令和2年1月31日(金曜日) 午前10時00分 開 議

場所 鹿追町議会議場

- | | | |
|------|--------|---------------------------------|
| 日程 1 | | 会議録署名議員の指名 |
| 日程 2 | | 会期の決定について |
| 日程 3 | | 諸般の報告 |
| 日程 4 | | 行政報告 |
| 日程 5 | 議案第 1号 | 令和元年度鹿追町一般会計補正予算(第6号)について |
| 日程 6 | 議案第 2号 | 令和元年度鹿追町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について |

2 本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

3 出席議員(11名)

1番 清水 浩徳議員	2番 山口 優子議員	3番 畑 久雄議員
4番 台蔵 征一議員	5番 加納 茂議員	6番 上嶋 和志議員
7番 川染 洋議員	8番 狩野 正雄議員	9番 埴渕 賢治議員
10番 安藤 幹夫議員	11番 吉田 稔議員	

4 欠席議員(なし)

5 本会議に説明のため出席したもの

町 長	喜 井 知 己
農業委員会会長	菊 池 輝 夫
教育委員会教育長	大 井 和 行
代表監査委員	野 村 英 雄

6 町長の委任を受けて説明のため出席したもの

副町長	松本新吾
総務課長	渡辺雅人
総務課主幹	葛西浩二
会計管理者	津川修
企画財政課長	草野礼行
町民課長	平山宏照
福祉課長	佐々木康人
農業振興課長	菅原義正
農業振興課主幹	城石賢一
商工観光課長	富樫靖
建設水道課長	大上朋亮
子育てスマイル課長	松井裕二
ジオパーク推進室長	黒井敦志
瓜幕支所長	東原孝博
病院事務長	菊池光浩
消防署長	内海卓実
総務課総務係長	土田佳幸
企画財政課長補佐	武者正人

7 教育委員会教育長の委任を受けて説明のため出席したもの

学校教育課長	宇井直樹
社会教育課長	浅野悦伸

8 農業委員会会長の委任を受けて説明のため出席したもの

事務局長	檜山敏行
------	------

9 議会事務局職員出席者

事務局長	坂井克巳
書記	高瀬俊一

令和2年1月31日（金曜日） 午前10時00分 開議

○議長（吉田稔）

ただ今から、令和2年第1回鹿追町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程1 会議録署名議員の指名

○議長（吉田稔）

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって1番、清水浩徳議員、2番、山口優子議員を指名します。

日程2 会期の決定について

○議長（吉田稔）

日程2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

異議なしと認めます。

本臨時会の会期は、本日1日間と決定しました。

日程3 諸般の報告

○議長（吉田稔）

日程3、諸般の報告を行います。

議長としての報告事項は、お手元に配付のとおり、内容をご覧の上ご了承願います。

日程4 行政報告

○議長（吉田稔）

日程4、行政報告を行います。喜井知己町長。

○町長（喜井知己）

令和2年第1回鹿追町議会臨時会が開催されるにあたり、行政の諸般についてご報告申し上げます。

令和元年12月11日には、令和元年度の鹿追高校生のカナダ短期留学派遣事業の報告会が町民ホールで行われました。カナダ短期留学につきましては、10月4日～18日にかけて例年どおり行われました。今年度の短期留学の研修の成果について、生徒たちがそれぞれの項目、班に分かれてパワーポイントなどを使って発表を行なったところであり、留学終了からの2カ月足らずの期間ではありましたが、しっかりと内容がまとめられており、非常にいい報告会だったと感じたところです。議員はじめ教育委員、学校関係者、校長先生ほか、中学校の2年生の生徒が参加をしておりまして、鹿追高校の取り組みを知ってもらう大変いい機会だったと思ったところでもあります。

同じく、12月15日には、2019 ウィンターコンサートということで町民ホールで大変多く300人近くのお客さんがご来場をされていました。第16回目となる教育大学釧路校の交響吹奏楽部を迎えてのコンサートということでもあります。町内の小学校をはじめ高校までの吹奏楽部、そして教育大の交響吹奏楽部の皆さん、総勢90名の方の演奏ということで約2時間で10曲程度を演奏されました。時期クリスマスということでおなじみのクリスマスソングをはじめ、大変来ていたお客様も喜んでいただけたかなと思います。また前の日に大学生が指導する機会もありました。子供たちにとってもそうですけれども、皆さん教員を目指している学生なので大変そういった意味でも良い試みだと思っています。また、鹿追高校から教育大の釧路校に進学をしてこの演奏会に参加をしていた男子の学生もいるということで、これも大変うれしいことだと感じた次第です。

同じく12月17日には、しかおい観光会議を開催させていただきました。議会からは議長、副議長、それから畑委員長、加納委員長、教育委員会、それからJA鹿追、商工会、観光関係の代表者の方等々にご参加をいただきました。鹿追の観光の現状、入込数、それから課題等について事務局からいろいろ説明をさせていただきまして、各団体の方々からいろいろな意見をいただいたところでもあります。いろいろな課題がありますが地域資源、あるいは特性を生かし、さらにニーズも多様化してきておりますので、それらの課題の対応とか商工業、農業、教育など多方面とのつながりのさらなる可能性、これも見いだすことも必要だと思っています。この後は現場レベルの方々等によるワークショップ形式などの会合も経て数回重ねていただいて、できれば年度内にある程度の方向性を出すような形にしていきたいと思っています。

12月18日には、前鹿追町長、吉田弘志氏の「労をねぎらう会」並びに令和元年秋の叙勲「旭日小綬章」、それから令和元年度市区町村長「総務大臣表彰」のお祝い会を開いたと

ころであります。総勢 180 名ぐらいのご参加をいただきました。吉田弘志氏ご夫妻をお迎えをしまして、5 期 20 年にわたって本町のまちづくりのリーダーとして地域の振興発展に多大な貢献をされた労をねぎらうとともに、先ほど申し上げましたそれぞれ荣誉ある賞を受けられたことをたたえるべく、町と町議会、農協、商工会の主催により開催をさせていただきました。祝賀会の中では、吉田議長から祝辞をいただき、それから前町長の功績を紹介をし、私から前町長に対して顕彰状を贈らせていただきました。吉田前町長からは、「皆様からの身に余る言葉に感謝をいたします。鹿追は可能性を多く秘めた町でこれからも町民が一つになって頑張ってもらいたい」というお言葉をいただいたところであります。

次に、12 月 21 日には、鹿追で 2 基目となる第 2 TMR センターの竣工式が瓜幕の現場、第 2 TMR センターで行われました。JA 鹿追町の木幡組合長ほか理事、それから第 2 TMR センターの役員、設計・施行業者の総勢で 70 名ほどの出席でありました。町内 2 基目となる TMR センターが瓜幕地区に完成したということでもあります。このセンターは、町内の酪農家 14 戸が利用する施設であります。事業費といたしましては、約 12 億円近く、国の畜産クラスター事業を活用をしております。可能な酪農家の餌もあるので、フルの回転というのは年明けということですから、もうそろそろフルの体制になっていくのかなと思っています。笹川の例でも乳量が着実に伸びているということもありますので、この施設についても大変期待をしているところであります。

年が明けて 1 月 5 日には、恒例であります令和 2 年鹿追町新年交礼会が開催をされています。約 80 名のご参加をいただきました。私と吉田議長のあいさつの後に、矢野司令の乾杯により懇談、それからこれも恒例になっています石沢岳松氏の詩吟をいただき、商工会長による万歳三唱で会を閉じたところであります。

次に、1 月 12 日、令和 2 年鹿追町成人記念式典が行われました。今年対象者は男女合わせて 85 名のうち、当日出席は 57 人ということで、結構多いかなという印象を受けました。前日は、成人者の主催による「自分たちの成人を自分たちで祝う会」も開かれまして、私も出席をさせていただきました。2 年後には民法の改正で成人年齢も変わるということで、成人式の在り方というの、なるべく早く方向性をしっかり示していく必要があるのかなと感じたところであります。

1 月 18 日には、第 59 回鹿追町民スケート大会が町民スケートリンクで開催をされました。幼児から一般の方まで総勢 120 名ほどの参加でありました。年々参加者も少なくなっているという話もありましたけれども、どうしてもこの 1 月の土日の時期には、特に

中学校はいろんなレベルの大会が開かれていて、当日も中学生の参加は本当に少なかったということでもありますけれども、これも本当に時期が集中するのでこれはやむを得ないのかなと思っています。今年については新聞等でも載っておりますけれども、明日から全国の中学校のスピードスケートの全国大会が長野で行われますけれども、鹿追からも鹿追中学校から6名、瓜幕から5名ということで11名の多くの生徒がこの全国大会に出場するというので、大変うれしいことだなと思っています。それぞれの活躍を期待するところがあります。

次に、1月22日には、元鹿追消防団団長、遠藤弘一氏が、令和元年秋の叙勲で「瑞宝双光章」を受章されたということで、ご都合で年前の伝達式には行けなかったものですから、十勝総合振興局の須藤副局長ほかがお見えになりまして、応接室で須藤副局長から伝達がされたところであります。遠藤氏は1973年に消防団に入団をされて、退団されるまで45年6カ月にわたり消防団員として活動をされ、その中でも退団するまでの8年ちょっとについては、消防団長を務められたということで今回叙勲の栄に浴したところであります。

次に、1月23日には、北海道家畜バイオガスプラント事業推進協議会の総会が、札幌で開催をされました。この協議会については、もともと鹿追町が会長、事務局を担っている組織でありまして、ちょっと遅くなったんですけれども、総会を開催をさせていただきました。道内の加盟の市町村、それから個人、法人会員もいらっしゃいますけれども17名ほどの出席で平成30年度の事業報告、それから令和元年度の事業計画のほか、総会終了後につきましては、研修会も併せて開催をさせていただきました。農水省のバイオマス循環資源課の川原課長補佐から「バイオマス事業の推進について」、それから、帯広畜産大学の梅津教授からは、「バイオガス消化液の研究最前線」、それから北電の電力システムグループの坂原グループリーダーからは、昨年発表されました「北海道の基幹系統増強案について」、ご説明をいただいたところであります。

次に、1月24日には、総合教育行政会議を開催させていただきました。この総合教育行政会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の関係で首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策について協議や調整を行う会議というふうになっております。当日の会議では児童、生徒数の現況、それから将来における今後の子供たちの数の推計等々について共通認識を持ったほか、特に先日、新聞発表されましたけれども、公立高等学校の入学出願者数の関係で鹿追高校について、ご案内のような状況になっているところであります。特に今後の鹿追高校、それから特に幼小中高一貫教育とい

う点もありますので、その辺の体制を改めて再構築、しっかり進めていく必要があるというところで意見交換を行なったところでもあります。

最後に、1月24日には、2020 しかりべつ湖コタンの開村式が湖畔で行われました。約100名の出席をいただきました。今回は39回目ということでもあります。雪が少ないということで、大変苦勞をされていたようですが、今年も大変良く出来ているというふうに思っています。3月22日までの予定ということで開催をされています。昨年、今までで多分一番多かった4万8千人ぐらいのお客さんが見えいただいていますので、今年もたくさんのお客さんの来場が期待をされているところでもあります。

以上で行政報告とさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（吉田稔）

これから行政報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

7番、川染洋議員。

○7番（川染洋）

ちょっと二、三、気になるところがありますので、もしお話ができるという内容であればお聞かせ願いたいと思うのですが、12月9日、福山市立大学都市経営学部都市経営学科、澤田准教授が来ておりますが、12月ですし、あるいは1月の頭の報告ですから、何かごあいさつ程度なのかもしれませんけれども、これも一つ、もし話の内容が聞かせていただければ、聞かせていただきたいのと、12月13日、日鉄住金の北海道支店、渡辺支店長が来町されています。これもちょっと私、気になるのですがごあいさつ程度であれば話は別なんですけれども、鹿追町のまちづくり等に関係するようなお話があったとすれば、少し垣間見た話も聞かせていただければと思います。それから1月9日、北海道庁の都市計画課が来町しておりますが、この辺も何か鹿追町のことについて特別何か知りたいとか勉強したいとかいうことがあったとすれば、こういうところも鹿追町の自慢になったりもするのかなと思ったりもしますので、差し支えのない限りで結構でございます。お話聞かせてもらえればと思います。

○議長（吉田稔）

答弁、喜井知己町長。

○町長（喜井知己）

12月9日の澤田准教授については、この方はジオパークの関係の協議会に参画をいただいております。主にはあいさつということでもありますけれども、今後のジオパーク

の関係、それから特に鹿追高校との関係、そういった観点でお話をさせていただいたということでもあります。

それから12月13日の日鉄住金の関係については、今年で5年目、最終年になる中鹿追のバイオガспラントの水素事業の、あそこは民間事業者4社でやっている中の一つが日鉄住金ということで、そういった関係もあって、これもごあいさつということでもあります。

1月9日は、道庁の都市計画課がお見えになったのは、二、三年前ですか。北の住まいるタウンということで道内で鹿追と当別だったかな。2つが計画を作った関係で、たまたま1月、今月に札幌のほうで講演会等があった中で、鹿追からも事例発表してほしいということで、うちのほうから建設水道課長が出席をして、鹿追のまちづくりについてお話をさせていただいたということで、その辺の打ち合わせも兼ねてということでございます。

○議長（吉田稔）

よろしいですか。

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

質疑なしと認めます。

これで、行政報告を終わります。

日程5 議案第1号 令和元年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）

○議長（吉田稔）

日程5、議案第1号、令和元年度鹿追町一般会計補正予算（第6号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第1号は、令和元年度一般会計補正予算（第6号）となるものです。

令和元年度一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによるといたしまして、第1条は、歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出にそれぞれ188万円を追加しまして、総額を91億8,574万8千円とするものであります。

補正予算の内容につきましては、歳出、8ページよりご説明いたします。

土木費、道路橋りょう費、道路新設改良費の工事請負費で、交通安全標識設置で、88万

円の追加。

都市計画費、公園緑地費の委託料で、然別川公園内支障木等伐採で、100万円の追加であります。

次に歳入、前ページからご説明いたします。

款項目、地方交付税の地方交付税で、188万円の追加であります。

以上、一般会計補正予算（第6号）について、ご説明申し上げました。

ご審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（吉田稔）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

6番、上嶋和志議員。

○6番（上嶋和志）

道路新設改良費、工事請負費についてお伺いいたしますけれども、これは道道東瓜幕芽室線と町道的美蔓上然別線の交差点に関する事故が、あそこは今で言えば町内で一番事故の多い箇所かなと思っています。

現在一つ目の信号、赤点滅、黄点滅の信号機が、それ以前は一時停止の標識のみでしたが、信号機が付きまして、実際、鹿追側から上がって、東瓜幕芽室線を上がっていくと、あそこで赤点滅、一時停止するんですけれども、あの坂の上り途中で停止線があるということで確認がしづらいですね。皆さん結構そこで一旦止まって出て行ってぶつかっている事故も結構あるんですよ。見通しが悪いということであります。

それで町道は黄色点滅ですので、交差点に入るときは徐行しなければならない。それが一つ目の信号ってあまりないので普通に通過しているんです、皆さん。それでの事故が、赤点滅のほうが一旦止まって確認してから出るのが通常なのですけれども、確認したつもりが、車が急に来てぶつかるという事故が見受けられるのですけれども。

今回、注意喚起の標識を立てるということで、それは評価できるのですけれども、これ以上の対応について、例えば今の一つ目の信号を三つ目にするとか、反対に町道側を一時停止にするとか、そのような予防を今後していく予定とかそういう認識があるかどうかをお尋ねいたします。

○議長（吉田稔）

答弁、建設水道課長。

○建設水道課長（大上朋亮）

上嶋議員の町道側の対策についてなんですけれども、現在ご承知のとおり、一灯式という信号機という形になっておりますが、信号機の設置については、警察署等の協議も必要となってきますので、そちらと今後協議しながら検討してもらいたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（吉田稔）

喜井知己町長。

○町長（喜井知己）

基本的に今、大上課長が答弁したとおりでありますけれども、本当おっしゃるとおり結構あそこは大きな、今回も幸いにもけがはそうでもなかった。それでも車は2台とも大破という状況でしたので、本当に事故が多発している場所ということでもありますので、議員からあった提案も含めて、もう一回警察ともしっかり話をして、信号機の関係は本当になかなか要望どおりにいかないというのがありますけれども、しっかり話をしていかないと、黙ってでは改善されないので、しっかりと警察を含めて相談をしていきたいと思っております。

○議長（吉田稔）

再質問ありますか。

そのほか質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第1号を採決します。この採決は起立によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

起立 10 名

○議長（吉田稔）

起立多数であります。

本案は原案のとおり可決されました。

日程6 議案第2号 令和元年度鹿追町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

○議長（吉田稔）

日程6、議案第2号、令和元年度鹿追町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第2号は、令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）となるものです。

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによるものといたしまして、第1条は、歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出にそれぞれ6,986万円を追加しまして、総額を8億1,728万9千円とするものであります。

補正予算の内容につきまして、歳出、15ページよりご説明いたします。

保険給付費、療養諸費、一般被保険者療養給付費の負担金で、5,750万円の追加。

高額療養費、一般被保険者高額療養費の負担金で、1,230万円の追加。

葬祭諸費、葬祭費の負担金で、6万円の追加であります。

次に歳入、前ページからご説明いたします。

道支出金、道補助金、保険給付費等交付金の普通交付金で、6,986万円の追加であります。

以上、国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてご説明申し上げました。

ご審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（吉田稔）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（吉田稔）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第2号を採決します。この採決は挙手によって行います。
お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手 10 名

○議長（吉田稔）

挙手多数であります。

本案は原案のとおり可決されました。

これで、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。令和2年第1回鹿追町議会臨時会を閉会します。

閉会 10時30分